

保安・建設課

仕事の内容：保安と建設の2つの業務を担当しています。保安業務では、安全パトロールなどセンターの安全に関わる業務を行っています。建設業務では、地下研究施設の整備やセンターの施設の保守管理を担当しています。

仕事のやりがい：センターの“縁の下の力持ち”として、研究業務を支えていることにやりがいを感じています。

どんな人が働いている？：課員の出身地は、北は稚内から西は長崎まで様々、年齢層も20代から60代までの個性豊かな11名で構成され、みんなで力を合わせて業務に取り組んでいます。



完成検査の様子
(500m調査坑道)

堆積岩工学技術開発グループ



坑道内での調査の様子

仕事の内容：将来の地層処分に適用可能な工学技術の開発に向けて、地下研究施設において人工バリアや坑道埋め戻しなどに関する調査・試験を実施しています。そして、得られた成果を、論文や報告書として取りまとめ、国内外の学会などで発信しています。

仕事のやりがい：社会に貢献できる課題に取り組んでいることに誇りと責任を感じます。また、国際共同研究で海外の研究者・技術者と議論し、多様な視点を取り入れながら、

解決策を具体化していける点もやりがいです。

どんな人が働いている？：地質や土木、地下水など、さまざまな専門分野の職員が集まっています。“研究者”はまじめで堅そうなイメージがあるかもしれませんが、休日は楽器演奏やスキー、野球、釣りなどの趣味を楽しみながら、幌延での暮らしを満喫しています。

堆積岩安全評価研究グループ

仕事の内容：地層処分の安全評価技術の研究として、岩盤内における地下水の流れや地下水に含まれる物質の移動の仕方に関する研究を主に行っています。現場でのデータ実測や数値シミュレーションを行い、観測と解析の両面からこれらの挙動に関する調査・試験を実施しています。

仕事のやりがい：予期せぬ事態や困難を克服し、貴重なデータの取得や解析に成功した瞬間には、大きなやりがいを感じます。

どんな人が働いている？：現場作業、実験・分析、数値解析など、各分野に強みを持つメンバーが集まっています。特に手先が器用なメンバーが多く、これら緻密な作業に加え、私生活では楽器演奏をたしなむなど、多才な個性が光るグループです。



幌延国際共同プロジェクトでの研究課題の一つである物質移行試験の様子



センター QRコード

問い合わせ先: 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
幌延深地層研究センター: 電話・告知端末機: 5-2022
ゆめ地創館: 電話・告知端末機: 5-2772



ゆめ地創館 QRコード